

コープふくしま大震災ニュース 【がんばっぺ編 10】

2011年4月2日発行

作成:対策本部にて取材中の
日本生協連出版部・松田

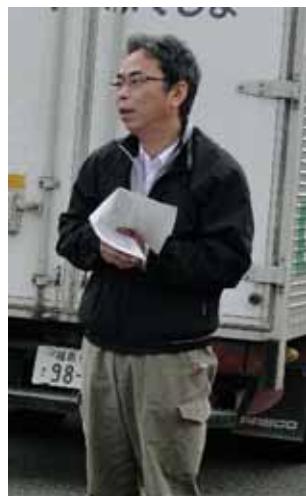
はじめまして。日本生協連会員支援本部出版部の松田です。フリーライターの筑波とバトンタッチし、本日から取材に入りました。5日まで、【がんばっぺ編】を担当いたします。短い期間ですが、福島の奮闘を知っていただく一助になれば幸いです。

本日の話題は、原発30km圏内の南相馬市で開催された出張販売「負けないぞ!! 南相馬 市」。何しろ写真をいっぱい撮ってきましたし、少々夜も遅くなっていますので、写真ニュース風で失礼いたします。



福島市内での出発式

野中専務からのご挨拶。
「南相馬市からの要請に応え
今回の「市」に協力することに
しました。
行政の力だけでは限界があり
ます。生協も住民の暮らしを支えるために役割を果たしましょう」



トラックに分乗して南相馬へ。原発事故の影響による立ち入り制限地域も通るルート。
行きかう車もまばらなエリアを、各県の生協のトラックが連なって進みます。

会場は南相馬市の休業中の「道の駅」。
トラックをバックに記念撮影。





荷物の積み出し開始です。



和日配の売場作り中。
商品は、市中ではほとんど入手
できなくなっているという納豆、
コープふくしま自慢の豆腐など。

農産の商品は、にんじん、たまねぎ
じゃがいも、きゅうり、アスパラ、など。
山盛りで100円。ビックリのお買い得
価格です。



調理がままならない
状況に配慮し、カップ
麺、レトルトカレー、
汁の具など、簡便商品
をそろえました。
奥には調味料も。



手前は加工肉。
この後、豚バラの
冷凍肉も並べられ、
お肉に飢えていた
地元のみなさんに
好評でした。
奥は菓子です。

開店の一時間半前から、入口に行列が…。
開店15分前には、行列はエントランスホールを貫き、
建物の外にまで伸びていました。





午前11時、いよいよ開店です。
場内混雑による事故を避けるために、入場人数を小分けにしています。
ほしかった野菜に、カップ麺に、次々と手が伸びます。



大賑わいの売場。
レジは手計算のため、大忙しです。



壁にはスローガンの横断幕。



レジで時ならぬ抱擁シーンが…。レジ係りの組合員理事・渡邊洋子さんが見つけて抱きついたお客様さんは、運営委員の方。「津波にさらわれた地区に住んでいて、連絡がなったから、とても心配していた」のだそうです。



組合員の佐藤孝さん。
「野菜が買いたかったから助かった。
店を見て歩くのはたいへんだから…」



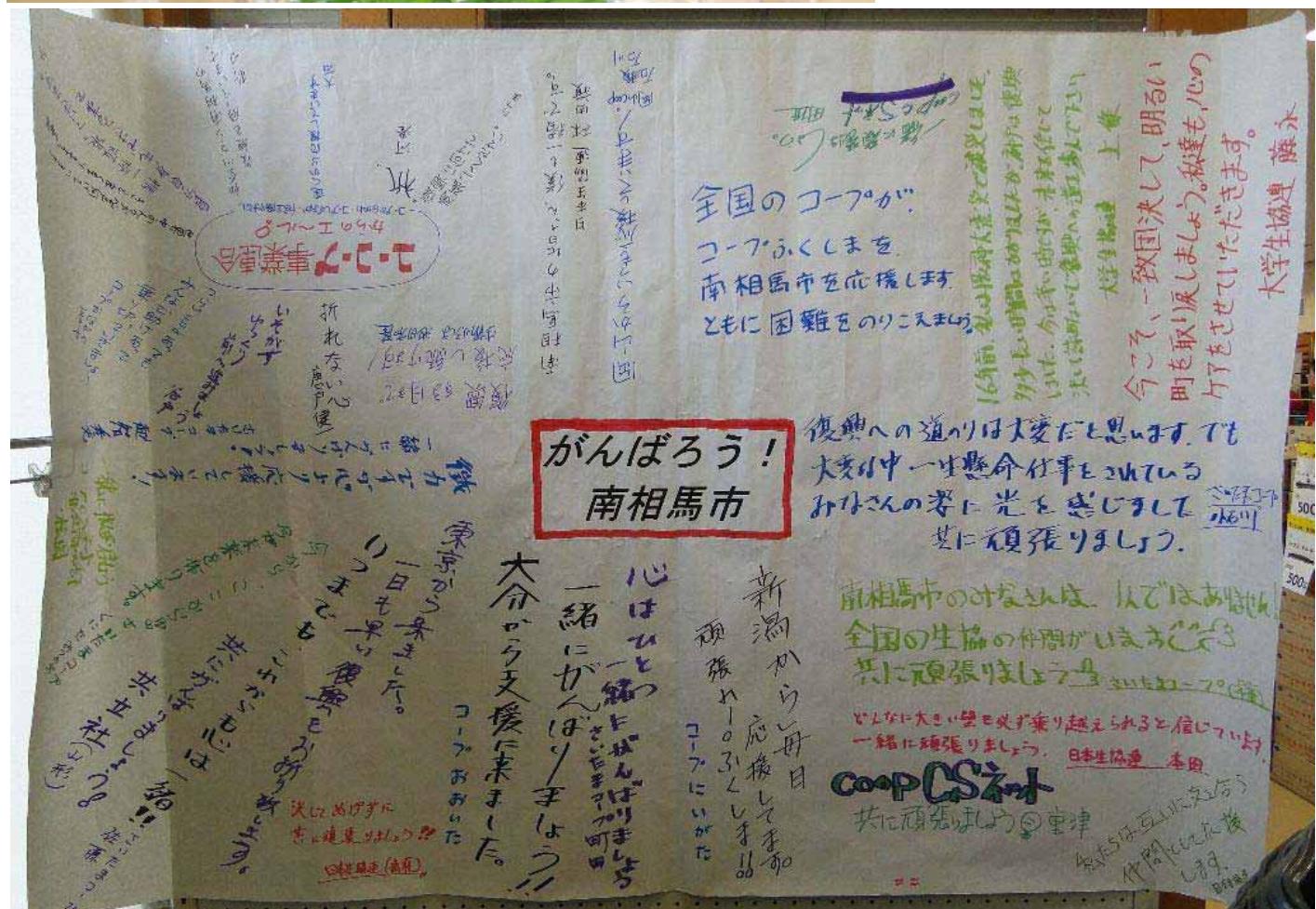
山ほど買い物をされ、組合員の川久保百合子さん。
「勤めに出てる娘の子供を預かっているので、
食材がこんなに買えてとてもありがたい。生協は
こんなにいいことしてくれて…。加入者がもっと
増えるといいわね」



閉店時刻間際に、毎日新聞の記者が取材にきました。
撮影しているのは、企画に賛同して出張販売に応じてくれたJAそうま・にら部会の売場。ちなみに、にらの販売数量は1,000束を超えたそうです。

入口の脇には、支援メンバーの寄せ書きが張られていました。

この会場からわずか十数kmのところに、下のような被災地が広がっています。





レジを担ってくださった組合員のみなさん。
右から、理事の渡邊洋子さん、運営委員の村松洋子さん、村松さんの娘さんのゆかりさん。
お疲れさまでした。

この日の来店客数は640人。
供給金額は100万円でした。